

# Friendship News



SIA 財団法人埼玉県国際交流協会

Saitama International Association

フレンドシップニュース



## 埼玉からの海外協力

Friendship News

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、その直後から世界各国による救助隊の派遣や物資の支援がありました。中には必ずしも経済的に豊かとはいえない国の人々が日本の惨状を知って義援金を集めてくださったというニュースもあり、日本人として深い感謝の気持ちを覚えました。

そのような支援をいただけたのも、日本が開発途上国に対し、長年にわたり、ODA(政府開発援助)やNGOが草の根の支援を行ってきたからだといわれます。

このような地道な活動が、世界の中で日本という国に対する評価を高めているのだということを改めて実感することができました。

(財)埼玉県国際交流協会でも、「彩の国さいたま国際協力基金」や、「中古資機材リサイクル国際協力事業」などを通じて、埼玉からの国際協力を続けています。



▲エクアドルの子どものための友人の会による農業技術指導

### 「彩の国さいたま国際協力基金」

この基金は、県内はもとより世界各地で草の根レベルの国際協力活動に取り組んでいる民間団体等の活動を資金面で支援するため、平成7年に設立されました。

県内に活動の拠点を置く団体が実施する県内協力事業（埼玉県内で実施する国際協力活動）及び海外協力事業（海外で実施する国際協力活動）に対して、同一事業3年を上限に、審査会を経て助成金を交付しています。これまで、県内団体延べ232団体に対し総額約80,840,500円の助成を行ってきました。

いずれの団体も地域に密着し、住民の厚い信頼と協力を得て生活環境の改善などに取り組んでいます。

### 「中古資機材リサイクル国際協力事業」

県、市町村、民間企業などが保有する中古資機材を、NGOを通じて必要とする開発途上国に提供しています。これまでにセネガル、トンガ、ミャンマーなど、16か国へ救急車や消防車、学校用の机やいすなどを贈っています。

日本ではその役目を終えた資機材が、現地の消防や救命救急の現場、また、教育の現場で新たな活躍の場を得て役立てられています。